

平成 26 年度
芦屋市総合公園
実施計画書

2014年3月

ミスノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同体

代表企業 ミスノ株式会社

構成企業 特定非営利活動法人芦屋市体育協会

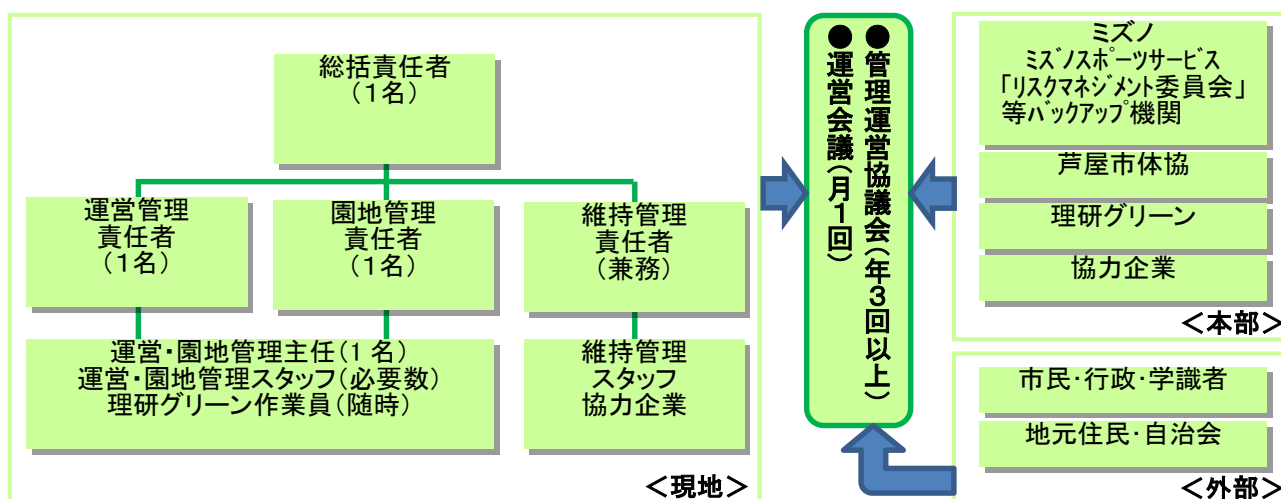
構成企業 株式会社理研グリーン

構成企業 ミスノスポーツサービス株式会社

(1) 総合公園組織体制

①人員体制

総括責任者を中心に効率的かつ効果的な人員配置による管理運営体制を構築します。専門的なスキルが要求される業務には専任を配置し、マニュアル強化により対応可能な業務はマルチ化を図ります。また、バックアップ体制（リスクマネジメント委員会等）を万全に現地・本部一体となった運営を行います。当グループ内の「運営会議」を毎月1回実施し、市民・行政・学識者、地元住民・自治会の参画による「管理運営協議会」を今年度は年2回以上開催します。



※常時4名体制を基準とし、繁忙時は増員します。

※必要数とは、繁忙期・閑散期に応じて柔軟にスタッフ数を調整した数です。

※園地管理については、管理体制詳細を次ページに記載します。

※運営協議会は初年度は2回

<配置人員>

職名	主な役割	事務	施設窓口	巡視点検
総括責任者 川口 光昭 (ミズノ)	総括管理責任者(兼)維持管理責任者 個人情報管理責任者、行政対応、労務 管理等担当	○	○	○
運営管理責任者 久保 貴佳 (芦屋市体育協会)	窓口受付、事務処理、広報、イベント 企画、地域団体との調整等担当	○	○	○
園地管理責任者 岡明 和也 (理研グリーン)	園地管理責任者(兼)陸上競技場芝生 専門職、植栽管理、緑化相談員等緑に 関する調整業務	△	△	○
運営・園地管理主任 稲濱 裕士 (ミズノスポーツサ ービス会社)	窓口受付、事務処理、広報、イベント 企画、地域団体との調整等担当	○	○	○
運営・園地管理スタ ッフ (必要数)	窓口受付、事務処理、園地管理作業、 巡回、自主事業講師 上記4名を含め、4人体制になるよう に配置します。	○	○	○
協力企業	建物、設備管理、清掃等担当	—	—	○

②運営会議（月1回）

月度報告、次月度特記事項確認、検討事項の共有等、より良い公園の運営管理をする為の内部での意見抽出と情報の共有を目的に月に1回開催します。

メンバー：統括責任者、運営管理責任者、園地管理副責任者、運営・園地管理主任、必要に応じて各構成員の本社スタッフ

③管理運営協議会（年3回以上）

四半期毎の報告をすると共に、共同体の外部からの意見や指摘を取り入れる事で公共施設としてより良い運営を行う為の参考とすることを目的に開催します。

メンバー：芦屋自治連合第10ブロック自治会長様、ピーモ 松尾様、まつり協議会様、老人会様、動物愛護協会様、学識経験者(神戸大学助教を予定)、メンバーは予定

(2) 運営計画

①サービス向上に関する計画

●利用者ニーズの把握とその反映方法

当グループは、毎日の積極的な利用者への「あいさつ」「お声掛け」により利用者ニーズを聞き出し、できることはすぐに対応することをサービス向上の基本とします。

Step1. 利用者ニーズ(意見)を収集します。

- ①積極的なコミュニケーションで生の声から
- ②利用者アンケート(年2回以上)から
- ③常設ご意見箱から
- ④管理運営協議会から
- ⑤施設ホームページへの問合せから
- ⑥本部サポートチームによるモニタリングから



■日々の接客を通じて

Step2. 収集した意見を整理・分析します。

収集した意見や要望については、整理・把握して詳細分析を行い、反映方法を貴市に相談の上、随時検討します。改善要望に対しては迅速かつ的確に対応するよう努めます。



■ご意見の適確な把握

Step4. 改善策を実施します。

決裁を得た改善策は、即対応もしくは実施予定時期を年度計画(メンテナンス・研修・整備改善)に盛り込み、確実に実行します。対策を実施したときは、必ずその改善度を利用者へのヒアリング等で確認し、不十分な場合は新たな改善策を実施します。



■利用者ヒアリング

Step3. 意見交換及び情報共有します。

- ①朝礼・終礼・引継ぎ・日誌での情報共有
- ②ミーティングによる意見交換・情報共有
- ③定期的な運営会議の実施
現地・本部担当者での意見交換・情報共有
- ④当グループ責任者会議
他施設での成功事例を水平展開し、失敗事例を教訓にします。



■朝礼での情報共有

上記のサイクルを回し、ハード面・ソフト面において直ちに対応すべきものは迅速に対応し、優先順位をつけて年度計画への反映を行い、施設・設備の整備、サービス改善等に計画的に取り組めます。

●客観的な目線でのサービスチェックも導入し、改善計画に反映させます。

当グループは、より客観的なサービス評価を行うため、第三者によるモニタリングを活用しています。本公園においても抜打ち実施し、評価結果については、現地および本部でも共通認識を持ち、各施設課題・問題点を挙げ、PDCA サイクルを回して改善活動を継続して実施します。



■第三者による評価報告書

●お褒めの言葉(成功事例)の収集を奨励させます。

当グループでは、利用者より頂いたお褒めの言葉を情報共有し、水平展開(標準化)を行うとともに、優れた活動は表彰することでスタッフの社会貢献意欲、業務モチベーションの向上を図ります。



■運営施設での表彰状授与

②具体的サービス向上策

●実現性の高いサービス向上策を提案します。

当グループが本公園の現状から導き出した具体的なサービス向上策は以下の通りです。以後、前頁記載の手法により新たな利用者ニーズを発掘し、利便性向上に取り組みます。

提案書を元に今年度の実施内容を記載します。

利便性向上策

【対策-1】芝生の再生に努めます。

芝生広場等の地面の露出が目立ってきた部分の芝生の再生に努めます。協力表明を頂いている芦屋市芝生化実行委員会との協働事業とします。



今年度内容

芦屋市芝生化実行委員会と共同で芝生の再生に努めると共に、指定管理期間中に芝生の維持が出来る様に、運営現場と芝生化実行委員会との連携体制を構築します。

【対策-2】草木等の定期的なメンテナンスによりレクリエーション機能の回復を図ります。

草木等の手入れにより、視認性の良い散歩道、ステージを提供し、市民のレクリエーション活動を促進します。ビオトープについても周辺を整備し、その存在をPRして子ども達が観察できるような環境をつくります。

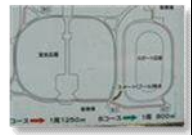


今年度内容

現場説明会時に、ビオトープ周辺に非常に背の高い草が生い茂っていたので、小まめに草刈し、ビオトープ周辺を常に綺麗な状態に保ちます。

【対策-3】レクリエーション活動をサポートする公園表示・サイン類を充実させます。

ウォーキング、ランニングをされる方へのコース案内や距離表示を行います。また、軽体操（準備、整理、補強）のアドバイス表示も行い、気軽に簡潔に運動が行える公園として来園者を増やします。



今年度内容

【対策-9】の内容と合わせて、日常業務を通じて利用者ニーズを把握し、ニーズにあった園内表示の改善追加計画を作成します。

【対策-4】市民の健康を維持増進するためにアウトドアフィットネス(ウォーキング、ランニング、ヨガ等)を開催します。

快適な自然環境の中で行う健康づくり活動としてアウトドアフィットネスを提案します。ウォーキング、ランニングだけでなく、**ヨガやストレッチ等の屋外開催**を企画します。



今年度内容

好天時に、自主事業のノルディックウォーキング、ヨガ、ピラティス、太極拳を屋外で開催し、快適な自然環境で気持ちよく、市民が健康増進出来るように努めます。

【対策-5】犬の散歩で来園される方のマナー向上を図ります。

犬の散歩で来園される利用者を対象に「**犬のマナー教室**」(芦屋動物愛護協会との協働事業)を実施します。犬の散歩利用者のマナーが良い公園として認知されるように、表示、呼びかけ等継続したマナーアップ啓発活動を行います。



今年度内容

提案の通り実施します。

【対策-6】ビーチスポーツの活性化を図ります。

ビーチスポーツとして、ビーチサッカー、ビーチバレーの利用促進を図るとともに、**各競技団体と協働してビーチクリーン活動**にも取り組みます。そのような活動を通じてスポーツ目的だけでなく親水目的の利用者にも美しいビーチを提供します。



今年度内容

公園緑地課様よりビーチスポーツの活性化は、近隣住民への配慮の観点から控えるように指示がありましたので、今年度は状況の把握に努めます。各競技団体と良好な関係を築き、ごみ拾いのようなビーチの美化活動を行います。

【対策-7】公園設備の修繕補修・交換を迅速に行います。

公園設備の不具合については、危険なものはすぐに使用中止とし、貴市への報告協議の上必要な対応(修繕・補修・交換等)を迅速に実施します。



今年度内容

提案通り実施します。

【対策-8】日常点検・巡視を強化します。

不法駐車、夏の花火、騒音等の対策として日常点検・巡視を強化します。強化策としてチェックすべき項目、場所、行為等を時期、時間別で点検項目をマニュアル化し、担当スタッフによる実施を徹底します。マニュアルは、貴市、管理運営協議会、近隣住民からのご意見から更新を重ねます。



今年度内容

提案通り実施します。

【対策-9】注意看板・表示物を見直します。

運動施設及び公園内に設置されている看板等の案内表示を点検し、見やすく伝わりやすい表示に改善、必要に応じて増設します。



今年度内容

【対策-3】の内容と合わせて、日常業務を通じて利用者ニーズを把握し、ニーズにあった園内表示の改善追加計画を作成します。利用者の安全に関わるものは、随時変更します。

【対策-10】スポーツ品の販売及びレンタルを実施します。

一時利用や忘れ物への利便性向上対応及びスポーツ時の機能性の高い商品を取扱うことでスポーツ活動をサポートします。



今年度内容

ショップ設置を計画していましたが、公園緑地課様より指示があり、設置しません。

【提案】現状のスポーツコートの有効活用を提案します。

現状、開放使用の状態となっているスポーツコートの使用・整備について貴市と協議した上で、有効活用策を提案します。具体的には、**アスファルトをスポーツサーフェス(人工芝等)へと改修し、多目的活用可能なコート運営**を行います。



今年度内容

公園緑地課様より指示があり、提案から削除させていただきます。

③研修計画

・立上期間中事前研修

日程	曜日	場所	研修内容
3月 15日	土	総合公園	現場業務確認
3月 19日	水	MSP 潮芦屋	総合公園指定管理説明、グループに関する説明
			契約書説明、シフト、給与、労務系、お金の取り扱い
3月 20日	木	MSP 潮芦屋	消防所御協力頂き CPR、AED 研修
3月 24日	月	総合公園	施設説明案内
			屋外業務（草刈、水やり等）に関する説明
			新たな業務（新規自主事業等）
3月 26日	水	総合公園	受付業務説明、事務所内案内、イベント・大会対応

④園地管理に関する計画

樹木・草地・芝の管理

●「憩い」「癒し」を十分に体感できる行き届いた植物の育成管理を行います。

環境保全、レクリエーション、防災、景観構成といった公園の持つ機能は、10年・20年後も如何に十分に発揮されているか、植物管理は、如何に十分になされているかにかかっています。当グループは植物の植栽状況、植物個々の特性を十分に理解し、その植物にあった管理を実施することによって健全な植物空間をつくり、公園の機能が十分に発揮できるよう努めます。また、剪定枝や刈り草は、リサイクル施設を利用し、チップ・堆肥化し、育苗地として利用するなど本公園や市内公園で使用し廃棄処分はしません。

1) 樹木管理

塩分を含んだ強風に対し、防風林として植栽されているクロマツ、記念樹として多く植栽されているサクラ、塩風に強いカシ類など公園樹木を健全に育成する管理を行います。なお衰弱木は、樹木医の診断に基づいて処置します。

① 剪定作業

ア. 高木、単独中木

強風に耐えられるように枝抜きを主として行います。剪定頻度は生育状況を観て行います。

イ. 寄せ植 中低木

ボックスウッドが多く植栽されていて 強い刈り込みにも耐えられるので現在の高さを基準に毎年1回剪定します。



■ 剪定作業

② 樹木施肥

高木については、衰弱木に固形肥料または混合有機肥料を冬期に施肥します。また、寄せ植え中低木は年1回冬期と化成肥料を 100g/m²程度散布します。



■ 病虫害駆除

③ 病虫害駆除

予防散布は実施せずイラガなどの毒虫の発生状況に応じてスミチオン乳剤等を散布します。発生時期にあわせて巡回を行い、初期段階での人力駆除を優先させ、極力薬剤の使用を控えます。

④ 灌水

乾燥状況に合わせて全ての樹木に対し実施しますが、葉に乾燥害が出現しやすい樹木は早めに処置します。

⑤ その他

ア. 台風強風後に枝折れがある場合は、速やかに切り戻しを行い、太枝の場合は癒合剤等を塗布し、防腐処理を施します。

イ. 台風強風によって塩風が枝葉に付着した時は、早急に水で洗い流します。

ウ. 衰弱木が発生し他にも拡大の恐れがある場合は、樹木医の診察を受け、診断内容に基づいた処置を施します。

エ. マツクイムシによる被害木が出た場合は、貴市に連絡すると同時に早急に伐採。なお、薬剤散布・樹幹注入などの処置に対する費用負担について貴市と協議します。



■ 台風時の倒木防止



■ マツクイムシ対応

2) 草地管理

公園利用者が広い草地を安全に安心して利用できる空間を創出します。刈り込み回数は2回以上とし場所によって 10 回程度のメリハリをつけた管理を行います。以下の注意事項を遵守して作業します。

- ①低刈りを基本とします。
- ②刈り込む前に草地の中を確認し、石・空き缶等を撤去してから刈り込みます。
- ③作業は、エリア分けし人の立ち入りを禁じます。また、ガードマンを配置するなど飛石による事故のないよう作業をします。
- ④樹木の根際を刈り払い機で傷つけません。



■草刈作業

3) グラウンド芝管理

秋期にオーバーシードを行い、1年中緑の芝生の中で利用して頂ける芝生づくりに努めます。芝生の管理に定型は無く、芝の表情を見て管理します。湿度、天候などの気象条件、使用頻度によるストレス、病害虫の発生状況、土壌の硬軟など様々な要因により、芝の表情は一変することがあります。常に芝に接し、このような状況になる前に、いち早く手段を講じ、良好な状態に保つのが長い経験により培われた技術です。本公園グラウンドはそのような芝生の管理経験豊富な者が担当します。

管理内容は下表を標準とします。

工種	年間 設計回数	年間											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
刈り込み	60	4	6	9	10	9	7	6	4	2	1	1	1
施肥(粒状)	6		○	○	○		○	○	○				
目土散布	2			○			○						
殺虫剤散布	3		○		○			○					
殺菌剤散布	3		○		○			○					
エアレーション	4		○	○	○		○						
バチカル	1						○						
スーパー掛け	5		○	○			○				○	○	
人力除草	1式												
補植	1式			○	○								
オーバーシード	1						○	○					
トランジション	1			○									
グラウンド周りエッジ切り	3			○		○		○					
散水	4												

⑤維持管理

●関連法規・条例、仕様書を遵守し、日常点検のマニュアル作成(更新)、実行を反復します。

芦屋市総合公園・潮芦屋緑地、ビーチは陸上競技場等運動施設の他にバーベキュー広場、ビオトープ池、遊具広場等を備える総合公園で、家族連れ(特に小さい子ども)の利用が期待されます。だからこそ、常に安定した施設環境で、「安心」「安全」に施設を利用できる状態を維持することは運営上、最も重要であると考えます。当グループは、以下の項目に従い施設の機能保全に努め適切な維持管理を行います。

1)施設・設備の管理

電気設備や空調設備、消防設備等法定点検が義務付けられている機器は、点検周期を確実に管理し機能保全に努めます。各機器、備品については、日常的にスタッフ巡回により不具合箇所の点検を行うとともに、別途定期的に専門会社による点検を実施します。また、遊具他公園内設備についても現地スタッフによる日常目視点検を実施します。



■法定点検の遵守

2)修繕業務

スタッフによる日常点検、また専門知識を有する者による定期点検の結果、異常が確認できる部分については、マニュアルや仕様書に基づき機器チェックを行い、補修処置を行います。また、修繕を要する箇所については貴市への報告を確実にを行います。

3)清掃業務

美しさと清潔さを重視し、「目視できる場所・目視できない場所」を問わず日常的に清掃を行い、衛生環境の確保に努めます。特にトイレ清掃に関しては週3回の日常清掃のほかに現地スタッフがチェックシートによる点検を行い、計画的に清掃作業を実施します。



■巡回時の清掃

4)警備関係業務

管理棟、緑の相談所、クラブハウス棟などの管理は火気等の始末に留意し確実に実施します。また、駐車場トラブルに関しては 24 時間対応の為、スタッフの居ない時間帯については夜間緊急対応可能な警備業者(アルソック)との契約を考えています。



■公園トイレの巡回

5)スポーツ設備管理業務

第4種陸上競技場として備えるべき陸上競技の用器具について、必要なものが必要な数量備わっているか、使用できる良い状態であるかを管理することで競技者のサポートに取り組みます。取り組みの中で陸上競技関連団体等との連携を密にとることによって円滑な競技大会及び利用サポートを実施します。

別表2 用器具一覧
必備用具

用器具名称	要 検 定	1種	2種	3種	4種	備 考
鋼鉄製巻尺	20m又は30m	4個	3	2	1	鋼材ナイロンコーティング可
	50m	2個	2	1	1	鋼材ナイロンコーティング可
	100m	2個	1	1	1	鋼材ナイロンコーティング可
リボンロッド	30m	2個	1	1	1	
	50m	3個	2	2	1	
	100m	2個	1	1	(1)	
	止金具	200個	100	100	50	平かすくい(金天候用) フネード用口の字 型金具(幅60cm× 長さ70mm)
	止金具	200個	100	100	30	
走高跳用高度計		2本	2	1	1	1種、2種では1本は 2m300以上計測できるもの
棒高跳用高度計		2本	2	1	(1)	1種、2種では1本は 5m500以上計測できるもの
ストップウォッチ	×	18個	18	18	18	1/100デジタル式1年1回検査すること
赤・白手旗	×	20組	20	15	10	判定用
黒手旗	×	40本	40	30	20	監察員用
緑・黄・赤手旗	×	4組	2	1	1	出発用

■陸上競技必備用具一覧
(ルールブックより一部抜粋)

6)その他

①再委託する業者を適切に選択

再委託事業者に対しては、既成概念に捉われないことと複数業者で見積もり合わせをし、経費と品質のバランスを考慮し、よりコストパフォーマンス性の高い事業者に再委託します。業者選定については市内業者を基準に考えています。

②省エネ・エコ対策

当グループは、「地球に優しい＝人と暮らしに優しい」という信念のもと、地球環境に配慮した管理運営に努めます。施設の管理・運営では、使用する備品や資材について、環境へ配慮した商品をまとめたエコリストを作成し、可能な限り環境に配慮した資材を利用するよう心がけるとともに、廃棄物については適切に分別し処分します。さらにスタッフ一同日常的に省エネ対策に取り組み、節水節電に努めます。

⑥市民参画

●市民の「参画」、市民との「協働」、そして市民が「共生」する公園を創ります。

当グループは、芦屋市体協を中心に「オール芦屋」で本公園を市民の参画と協働の場として、競技者だけでなく障がい者、シニア世代対象のイベントやスポーツを通じたチャリティイベント等の開催を地元団体と協力して実施します。イベント開催を通じ、市民活動の場としてより有意義なものを実施します。

活動計画案	開催頻度 (回数)
【計画-1】「春と秋の園遊会」を開催します。 協働対象:PMO あしや PMO あしや協力による園遊会を開催し、活動成果の発表とともに園遊会を盛り上げるイベント企画を盛り込みます。	年2回
【計画-2】「スペシャルオリンピックス日本・兵庫・芦屋プログラム」を開催します。 協働対象:スペシャルオリンピックス日本・兵庫・芦屋プログラム 毎月2回知的障がい者スポーツ教室プログラムや成果の発表の場としての競技会を開催します。	年24回
【計画-3】「リレー・フォー・ライフジャパン芦屋」を開催します。	年1回

<p>協働対象:リレー・フォー・ライフ関西実行委員会 公益財団法人日本対がん協会とともにがん患者支援、がん検診啓発に対する事業を実施します。</p>	
<p>【計画-4】「芦屋市ペットマナー教室」を開催します。 協働対象:芦屋動物愛護協会 ペットの飼い方及びしつけ教室を年2～3回開催します。</p>	年2回以上
<p>【計画-5】「芦屋市高齢者スポーツ大会」を開催します。 協働対象:芦屋市・ボランティア・老人クラブ 芦屋市の高齢者を集めてスポーツ大会(約1,000名の参加見込み)を開催します。</p>	年1回
<p>【計画-6】東日本大震災支援芦屋ユナイテッド芦屋リレーマラソンを開催します。 協働対象:芦屋ユナイテッド・リレーマラソン実行委員会 リレーマラソンを通して、地域住民のスポーツ及び文化の普及、青少年育成、東日本大震災の復興支援を目的としたチャリティ事業を開催します。</p>	年1回
<p>【計画-7】芦屋市内の都市公園の芝生化事業を実施します。 協働対象:芦屋芝生化実行委員会(構成メンバー所属団体 芦屋市体育協会、芦屋市老人クラブ連合会、芦屋市子ども会連絡協議会、芦屋青年会議所、芦屋浜自治連合会、芦屋市商工会青年部、リレーフォーライフ関西実行委員会) 芝生化事業を通じて、子どもたちの運動能力向上や地域貢献、住民への貢献に資することを目的とします。</p>	通年
<p>【計画-8】芦屋サマーカーニバルを開催します。 協働対象:特定非営利活動法人芦屋市民まつり協議会 花火大会を中心とした芦屋最大規模の市民祭を開催します。</p>	年1回
<p>【計画-9】潮芦屋ビーチクリーン活動を実施します。 協働対象:芦屋市サッカー協会、芦屋市バレーボール協会(芦屋市体育協会) ビーチスポーツ活動団体と協働して、ビーチクリーナーを使用した潮芦屋ビーチのクリーン活動を実施します。</p>	年1回
<p>【計画-10】総合型地域スポーツクラブとの協働関係を築きます。 協働対象:アスリートクラブ芦屋ユナイテッド(芦屋市体育協会) 総合型地域スポーツクラブを活動場所の提供等で支援し、人的資源をボランティア等で協力依頼する協働関係を築きます。</p>	通年
<p>【計画-11】「潮芦屋アクアスロン大会」を開催します。 協働対象:特定非営利活動法人芦屋市民まつり協議会 ビーチを含めた総合公園を利用した芦屋市民の健康促進を図る大会を開催します。</p>	年1回
<p>【計画-12】「芦屋杯グラウンドゴルフ交流大会」を開催します。 協働対象:芦屋市グラウンドゴルフ協会 芦屋市及び近郊のグラウンドゴルフ愛好者約400名を招いて、総合運動公園で大会を開催します。</p>	年2回
<p>【計画-13】「キッズラグビークリニック」を開催します。 協働対象:特定非営利活動法人芦屋ラグビーソサエティ ラグビーを通じた青少年健全育成事業を開催します。</p>	年12回
<p>【計画-14】「シニアサッカー大会」を開催します。 協働対象:一般社団法人芦屋市サッカー協会 中高年対象のサッカー大会を開催します。</p>	年2～3回

⑦自主事業計画1)教室・スクール

事業名		内容
園芸・文化	現緑化相談員緑化講習	・従来より継続して緑化相談員を担当して頂いている佃、前田の両先生による園芸等講習会を月2回以上実施します。 ※料金等は、開催する内容により変動します。
	その他緑化講習	・新しく講師を招いての講習会 ・出前講習会 ・その他、みどりに関心を持ってもらうための講習会、集い等を1年間で6回以上実施します。
	その他	・ビオトープ池の再生、利用促進 ・ステージの利用促進などを通して子供達の公園への関心を高めることを1年間を通して考えます。

※園芸・文化の自主事業に関しては、今年度は上記を基本とし、利用者のニーズを把握し、来年度以降増やしていきます。

事業名		内容
健康づくり	ヨガ (会議室・公園)	ゆっくりとした動きの中で全身を使い、バランスよく筋力と柔軟性を高めます。気候の良い時期は、アウトドアフィットネスとして公園で実施します。 対象:一般 参加費:1,050円 定員:15名 実施頻度:月3回(年12期)
	太極拳 (会議室・公園)	様々なポーズを体得し、ゆっくりとした動きを連続し、筋持久力とともに全身持久力も高めます。気候の良い時期は、公園で実施します。 対象:一般 参加費:1,050円 定員:15名 実施頻度:月3回(年12期)
	フラダンス (会議室・公園)	中高年の女性に人気のプログラムを導入します。気候の良い時期には、アウトドアフィットネスとして公園で実施します。 対象:一般 参加費:1,050円 定員:15名 実施頻度:月3回(年12期)
	親子体操教室 (会議室)	子育て(幼児)世代に、親子同時に参加が出来る体操教室を開催し、運動効果とともに親子の触れあい、同じ世代での交流も図ります。 対象:親子 参加費:1,050円 定員:15名 実施頻度:月1回(年12期)
	介護予防教室 (会議室)	運動器機能向上と転倒を予防するために必要なトレーニングや体操をアドバイスし、快適なシニアライフを送っていただけるようサポートします。 対象:シニア 参加費:1,050円 定員:10名 実施頻度:月3回(年12期)
	ウォーキング教室 (園路等)	運動として正しい歩き方(姿勢・運動強度)をメインに靴の履き方、選び方、靴紐の結び方などについてもアドバイスします。 対象:一般 参加費:320円 定員:20名 実施頻度:月1回(年9期)
	ノルディックウォーキング教室 (園路等)	ノルディックポールを使い、通常のウォーキングより全身の筋肉を使う強度・消費エネルギーの高いノルディックウォーキング教室を実施します。 対象:一般 参加費:520円 定員:20名 実施頻度:月1回(年10期)
	ランニング教室 (園路等)	最近のマラソンブームからランニングを始められる方や初心者の方を対象にフォームチェックや練習方法の実践を行います。 対象:一般 参加費:320円 定員:20名 実施頻度:月1回(年9期)
	キッズダンス教室 可力掛	ダンスに挑戦したい、学校での必修化に伴い苦手を克服したい小学生を対象にキッズダンス教室を開催します。

(会議室)	対象:小学生 参加費: 840 円 定員:20 名 実施頻度:月3回(年9期)
短期ラグビー教室 (競技場)	興味はあってもできる機会が少ないラグビー競技をコンタクト(身体接触)なく安全に楽しむことができるラグビー教室として実施します。 対象:小学生 参加費: 840 円 定員:20 名 実施頻度:年 10 回
短期バスケットボール教室 (スポーツコート)	バスケットボールの基本動作(ドリブル、パス、シュート)の練習を普段アドバイスを受ける機会が少ない子どもたちを対象に実施します。 対象:小学生 参加費: 840 円 定員:20 名 実施頻度:年 10 回
あしやアスリートクラブ (競技場)	スポーツ基本である「走り」を身に着ける教室を開催します。 ※NPO 法人アスロン様共同事業 対象:幼児・小学生 参加料:3,800~6,000 実施頻度:月 8 回

2)イベント・大会、その他

事業名	内容	
子ども体育	子ども苦手運動克服教室 (競技場)	子どもが苦手とする「跳び箱」「鉄棒」「マット運動」「走り方」の4種目の運動について短期集中レベルアップ教室を実施します。 対象:幼児・小学生 参加費:1,050 円 定員:20 名 実施頻度:年2回
	子ども体力測定 (競技場)	ミズノが商品開発の中で培った「走る」「投げる」「跳ぶ」動きから、キッズチャレンジプログラムとして新しい子ども体力測定会を実施します。 対象:小学生 参加費: 520 円 定員:50 名 実施頻度:年1回
	運動会必勝塾 (競技場)	運動会の前に子どもたちに速く走るコツをアドバイスする運動会必勝塾を開催します。 対象:小学生 参加費: 510 円 定員:50 名 実施頻度:年2回

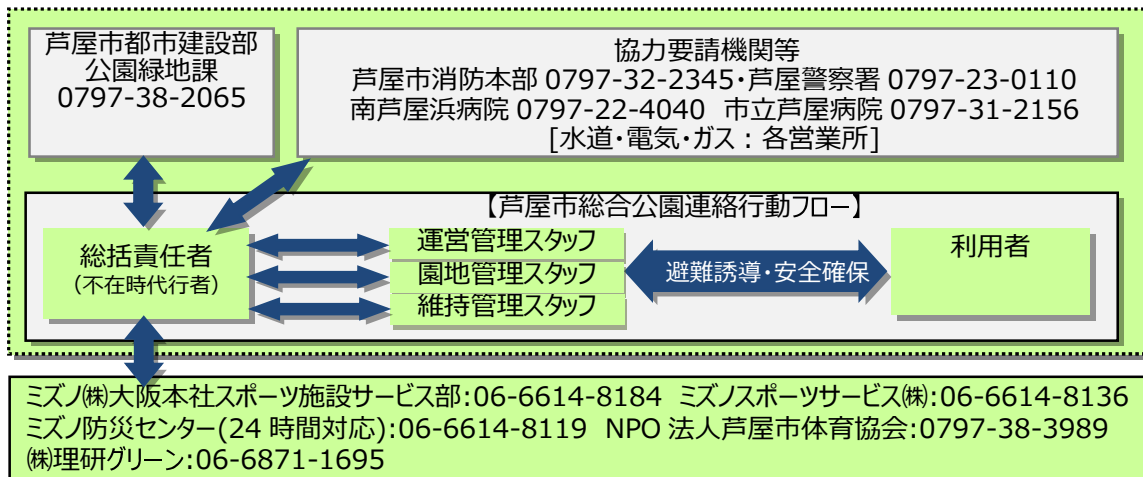
事業名	内容	
ビーチスポーツ	ビーチサッカー大会 (ビーチ)	ビーチスポーツの盛り上げ、練習成果発表の場として大会を開催します。 対象:一般 参加費:8,400 円 定員:12 チーム 実施頻度:年2回
	ビーチバレー大会 (ビーチ)	ビーチスポーツの盛り上げ練習成果発表の場として大会を開催します。 対象:一般 参加費:6,300 円 定員:10 チーム 実施頻度:年2回

(参加費は予定です)

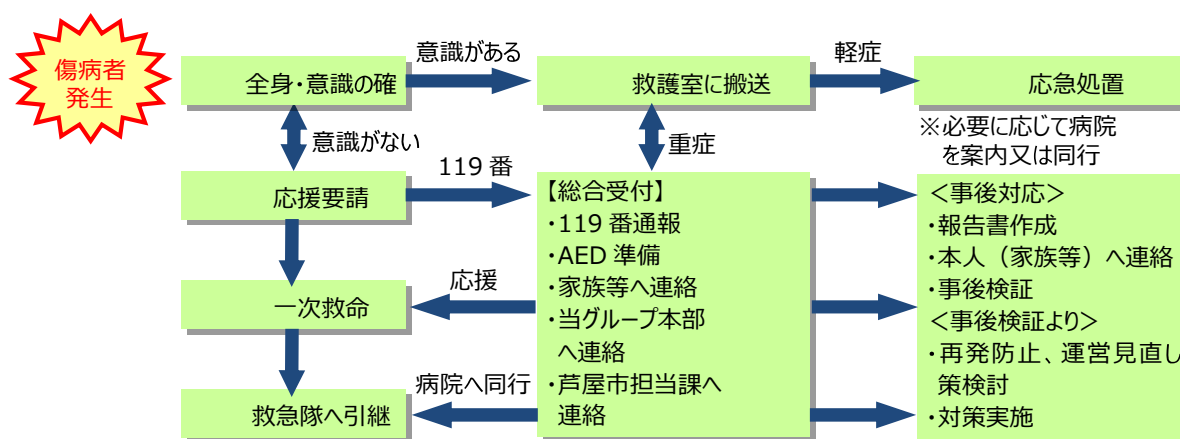
(3) 緊急時の対応

●緊急時は総括責任者の指示・命令のもと現地、本部、近隣スタッフ一体で事態収拾を図ります。

当グループは本公園の事故・火災、災害発生時などの緊急時には、緊急時体制を敷き、貴市担当課及び関連機関との連携・調整を行い迅速に対応します。災害に備え、芦屋市防災計画に基づく防災ガイドマップ、災害メーラー等を活用した体制を構築します。



(傷病者発生時)まず状況を把握し的確な判断に努め、必要に応じて応急処置を行います。



各対応の確実性向上のために

●基本的な訓練の反復と本公園各所・時間帯での想定訓練から確実性を高めます。

本公園内での事故に備え、安全に対する基礎知識や運営に対する心がけを始め、全スタッフが身に付けるべき心肺蘇生法(CPR)・AED 操作訓練を行います。個々の能力アップと連携(利用者への協力要請等を含め)による救急体制の確立を目的に総合的な訓練を行います。また、本公園の特性(立地条件、設備配置等)を踏まえ、園内のどこで、いつ発生した場合にまで掘り下げたシミュレーション研修を行います。

危機管理研修	取り組み内容
救急救命研修 消防避難訓練	<p>公園内での事故に備え、安全に対する基礎知識や運営に対する心掛けを始め、全スタッフが身に付けるべき心肺蘇生法(CPR)・AED 操作訓練を行います。</p> <p>個々のスキルアップとスタッフ連携(利用者への協力要請を含める)による救急体制の確立を目的に総合的な訓練を行います。また、消防避難訓練についても同様に個々の対応力とチーム力、関係機関との連携が一体化できる訓練に取り組みます。</p> <p>[実施頻度:年2回以上]</p>
社外公的資格取得 (更新)研修参加	<p>当グループでは、各物件において救命救急、消防・避難訓練の中心となるスタッフの育成を計画的に進め、日本赤十字社主催、消防署主催の資格認定及び資格更新研修への参加を促進しています。また、有資格者(応急手当普及員等)の有効活用として、地域住民対象の救急救命講習会開催等の地域貢献活動にもつなげています。</p> <p>[平成24年度新規取得実績:日赤救急法救急員11名、日赤水上安全法救助員16名、応急手当普及員7名、甲種防火管理者5名]</p>



安全性維持の活動

●各作業の反復・継続・積み重ねにより安全性を担保します。

当グループは、施設の設備・備品が備えるべき機能とそれを使うスタッフのスキルを維持向上します。それにより危機発生時に発揮されるべき対応を確実にを行います。その取り組み事例として AED(心肺蘇生法)の機能保持について記載します。

➤事例:AED チェックの実施

AED 等の緊急用の設備・備品等は、常時機能保持と円滑な使用が必要です。メンテナンスやチェック等を日常業務とし、発生時の円滑な対応に備えます。さらに使用するスタッフ側のスキルアップ研修も実施します。

ア. 日常点検:セルフテスト実施で使用可能確認。使用不可サイン表示時は至急復旧対応。

- イ. 日常点検結果の表示: 誰がいつ点検してどうだったかの記録管理。
- ウ. 電極パッドの交換: 日常点検時に使用期限チェック。使用した場合は即交換。
- エ. バッテリーの交換: 約5年が交換目安のため、日常点検時にチェック。
- オ. 設置場所の表示: スタッフとともに利用者への設置場所の明示。
- カ. AED 研修継続: 人的機能(使用スキル)の保持。(採用時・定期)



■ 日常点検作業



■ 設置場所表示



■ CPR&AED 研修

その他安全対策

● 季節・流行に応じた対策を実施します。

➢ 熱中症予防・水分補給啓蒙について

猛暑への危機意識が高まる中、**熱中症指標計**を使用した利用者への水分補給のインフォメーション活動等**コンディションリスクへの対応**に取り組みます。



■ 指標計による測定



■ 受付でのインフォメーション

➢ 新型コロナウイルス等への対策について

新型の感染症が地域で確認された場合は、以下のように適切に予防策を講じます。また世界的な大流行(パンデミック)対策を貴市や関係各所と連携しながら実施します。日常的にスタッフに体調管理を徹底させ、予防策を講じますが、スタッフや利用者の方が万が一発症した場合は、貴市と協議の上、適切・迅速に対応します。

新型コロナウイルス対策一例

(対利用者)

- ・各施設の玄関やトイレ等の施設内の共用部分にアルコール消毒液を設置し、消毒の徹底を推進

- ・入館時の手洗い消毒の協力要請 ・体調の優れない方への活動の自粛のお願い

(対スタッフ)

- ・健康管理・衛生管理の徹底 ・こまめな手洗い・うがい ・消毒の義務付け

- ・外出時、施設内でのマスク着用の義務化 ・体調の優れないスタッフへの対応の周知



(4) 本年度予算

① 芦屋市総合公園管理運営費(消費税相当額を含む。)

(金額:千円)

項目	金額	積算根拠等
(収入)		
利用料金収入	18,900	実績を元に積算
その他収入	4,644	実績を元に積算
自主事業収入	4,994	実績を元に独自の取組を含め積算
計(A)	28,538	収入合計
(支出)		
人件費	12,205	実績・仕様書を元に積算、
光熱水費	5,254	実績を元に電気代値上がり分を考慮して積算
設備等保守	788	実績・仕様書を元に積算
清掃・植栽・警備等	20,663	実績・仕様書を元に積算
緑化推進費	6,020	実績・仕様書を元に積算
修繕費	5,300	実績・仕様書を元に積算
事務局費	2,000	実績を元に積算
その他	2,537	備品、消耗品、保険料等、当グループの実績を元に積算
イベント等経費	3,147	自主事業、イベント計画より積算
計(B)	57,914	支出合計
提示額(A)-(B)	-29,376	指定管理料提案金額 29,376 千円

※消費税相当額は、平成 26 年度8%で計上

②潮芦屋緑地・ビーチ管理運営費（消費税相当額を含む。）

（金額：千円）

項目	金額	積算根拠等
（収入）		
利用料金収入	21,492	実績を元に積算
その他収入	1,836	実績を元に積算
自主事業収入	308	
計(A)	23,636	収入合計
（支出）		
人件費	20,600	実績・仕様書を元に積算、
光熱水費	2,684	実績を元に電気代値上がり分を考慮して積算
設備等保守		
清掃・植栽・警備等	8,162	実績・仕様書を元に積算
緑化推進費		
修繕費	100	実績・仕様書を元に積算
事務局費	300	実績を元に積算
その他	1,769	備品、消耗品、保険料等、当グループの実績を元に積算
イベント等経費	1,469	自主事業、イベント計画より積算
計(B)	35,084	支出合計
提示額(A)-(B)	-11,448	委託料提案金額 11,448 千円

※消費税相当額は平成 26 年度 8%で計上

③芦屋市総合公園及び潮芦屋緑地・ビーチ管理運営費

(金額:千円)

項目	芦屋市総合公園	潮芦屋緑地・ビーチ	計
(収入)			
利用料金収入	18,900	21,492	40,392
その他収入	4,644	1,836	6,480
自主事業収入	4,994	308	5,302
計(A)	28,538	23,636	52,174
(支出)			
人件費	12,205	20,600	32,805
光熱水費	5,254	2,684	7,938
設備等保守	788		788
清掃・植栽・警備等	20,663	8,162	28,825
緑化推進費	6,020		6,020
修繕費	5,300	100	5,400
事務局費	2,000	300	2,300
その他	2,537	1,769	4,306
イベント等経費	3,147	1,469	4,616
計(B)	57,914	35,084	92,998
提示額(A)-(B) (合計)	-29,376	-11,448	-40,824

管理料提示額 芦屋市総合運動公園 29,376 千円 潮芦屋緑地・ビーチ 11,448 千円 合計 40,824 千円

※消費税相当額は、平成 26 年度 8% で計上

④損害保険料の内訳

(1)施設賠償責任保険内訳

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料(千円)
施設賠償責任保険【追加被保険者、芦屋市】	1名につき 100,000 千円、1事故につき 300,000 千円、財物損壊 100,000 千円、いずれも免責0円	127 千円 ※スクール人数により多少の変動あり

(2)第三者責任賠償保険内訳

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料(千円)
施設賠償責任保険に含む		

※消費税相当額は、平成 26 年度 8% で計上

④損害保険料の内訳

(1)施設賠償責任保険内訳

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料(千円)
施設賠償責任保険【追加被保険者、芦屋市】	1名につき 100,000 千円、1事故につき 300,000 千円、財物損壊 100,000 千円、 いずれも免責0円	127 千円 ※スクール人数により多 少の変動あり

(2)第三者責任賠償保険内訳

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料(千円)
施設賠償責任保険に含む		

※消費税相当額は、平成 26 年度8%で計上

平成 27 年度
芦屋市総合公園
実施計画書

2015年3月

ミスノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同体

代表企業 ミスノ株式会社

構成企業 特定非営利活動法人芦屋市体育協会

構成企業 株式会社理研グリーン

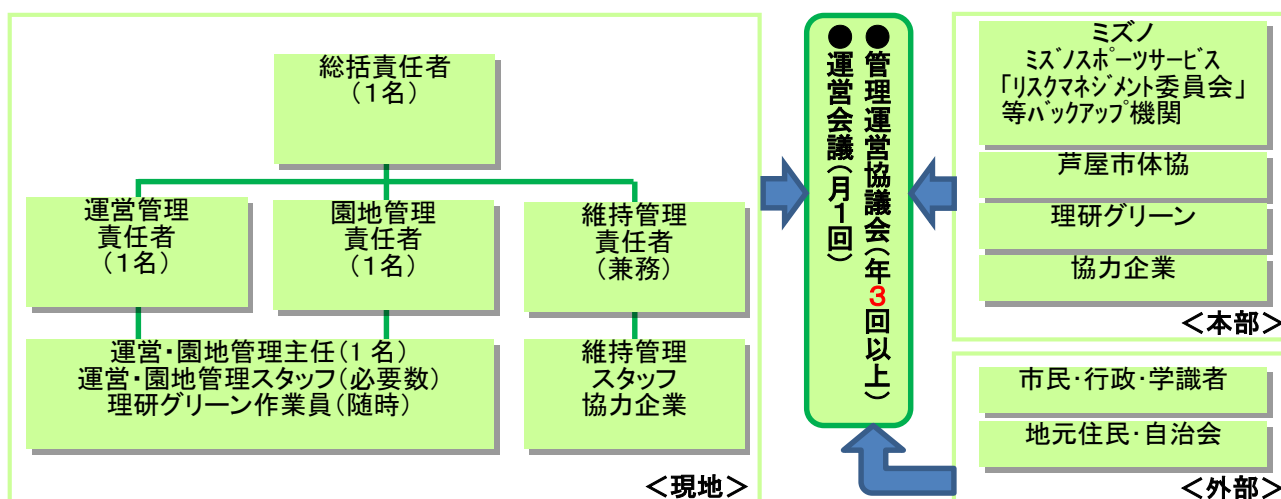
構成企業 ミスノスポーツサービス株式会社

150228

(1) 総合公園組織体制

①人員体制

総括責任者を中心に効率的かつ効果的な人員配置による管理運営体制を構築します。専門的なスキルが要求される業務には専任を配置し、マニュアル強化により対応可能な業務はマルチ化を図ります。また、バックアップ体制（リスクマネジメント委員会等）を万全に現地・本部一体となった運営を行います。当グループ内の「運営会議」を毎月1回実施し、市民・行政・学識者、地元住民・自治会の参画による「管理運営協議会」を今年度は年2回以上開催します。



※常時4名体制を基準とし、繁忙時は増員します。

※必要数とは、繁忙期・閑散期に応じて柔軟にスタッフ数を調整した数です。

※園地管理については、管理体制詳細を次ページに記載します。

※運営協議会は年間3回

<配置人員>

職名	主な役割	事務	施設窓口	巡視点検
総括責任者 川口 光昭 (ミズノ)	総括管理責任者(兼)維持管理責任者 個人情報管理責任者、行政対応、労務 管理等担当	○	○	○
運営管理責任者 久保 貴佳 (芦屋市体育協会)	窓口受付、事務処理、広報、イベント 企画、地域団体との調整等担当	○	○	○
園地管理責任者 岡明 和也 (理研グリーン)	園地管理責任者(兼)陸上競技場芝生 専門職、植栽管理、緑化相談員等緑に 関する調整業務	△	△	○
運営・園地管理主任 稲濱 裕士 (ミズノスポーツサ ービス会社)	窓口受付、事務処理、広報、イベント 企画、地域団体との調整等担当	○	○	○
運営・園地管理スタ ッフ (必要数)	窓口受付、事務処理、園地管理作業、 巡回、自主事業講師 上記4名を含め、4人体制になるよう に配置します。	○	○	○
協力企業	建物、設備管理、清掃等担当	—	—	○

②運営会議（月1回）

月度報告、次月度特記事項確認、検討事項の共有等、より良い公園の運営管理をする為の内部での意見抽出と情報の共有を目的に月に1回開催します。

メンバー：統括責任者、運営管理責任者、園地管理副責任者、運営・園地管理主任、必要に応じて各構成員の本社スタッフ

③管理運営協議会（年3回）

四半期毎の報告をすると共に、共同体の外部からの意見や指摘を取り入れる事で公共施設としてより良い運営を行う為の参考とすることを目的に開催します。

メンバー：芦屋自治連合第10ブロック自治会長様、ピーモ 松尾様、まつり協議会様、みどり福祉会様、芦屋市体育協会様、学識経験者(神戸大学助教)、メンバーは予定

(2) 運営計画

①サービス向上に関する計画

●利用者ニーズの把握とその反映方法

当グループは、毎日の積極的な利用者への「あいさつ」「お声掛け」により利用者ニーズを聞き出し、できることはすぐに対応することをサービス向上の基本とします。

Step1. 利用者ニーズ(意見)を収集します。

- ①積極的なコミュニケーションで生の声から
- ②利用者アンケート(年2回以上)から
- ③常設ご意見箱から
- ④管理運営協議会から
- ⑤施設ホームページへの問合せから
- ⑥本部サポートチームによるモニタリングから



■日々の接客を通じて

Step2. 収集した意見を整理・分析します。

収集した意見や要望については、整理・把握して詳細分析を行い、反映方法を貴市に相談の上、随時検討します。改善要望に対しては迅速かつ的確に対応するよう努めます。



■ご意見の適確な把握

Step4. 改善策を実施します。

決裁を得た改善策は、即対応もしくは実施予定時期を年度計画(メンテナンス・研修・整備改善)に盛り込み、確実に実行します。

対策を実施したときは、必ずその改善度を利用者へのヒアリング等で確認し、不十分な場合は新たな改善策を実施します。



■利用者ヒアリング

Step3. 意見交換及び情報共有します。

- ①朝礼・終礼・引継ぎ・日誌での情報共有
- ②ミーティングによる意見交換・情報共有
- ③定期的な運営会議の実施
現地・本部担当者での意見交換・情報共有
- ④当グループ責任者会議
他施設での成功事例を水平展開し、失敗事例を教訓にします。



■朝礼での情報共有

上記のサイクルを回し、ハード面・ソフト面において直ちに対応すべきものは迅速に対応し、優先順位をつけて年度計画への反映を行い、施設・設備の整備、サービス改善等に計画的に取り組みます。

●客観的な目線でのサービスチェックも導入し、改善計画に反映させます。

当グループは、より客観的なサービス評価を行うため、ミズノ監査室、法務部によるモニタリングを活用しています。本公園においても抜打ち実施し、評価結果については、現地および本部でも共通認識を持ち、各施設課題・問題点を挙げ、PDCA サイクルを回して改善活動を継続して実施します。(昨年は監査室、法務部で実施)



■第三者による評価報告書

●お褒めの言葉(成功事例)の収集を奨励させます。

当グループでは、利用者より頂いたお褒めの言葉を情報共有し、水平展開(標準化)を行うとともに、優れた活動は表彰することでスタッフの社会貢献意欲、業務モチベーションの向上を図ります。



■運営施設での表彰状授与

②具体的サービス向上策

●実現性の高いサービス向上策を提案します。

当グループが本公園の現状から導き出した具体的なサービス向上策は以下の通りです。以後、前頁記載の手法により新たな利用者ニーズを発掘し、利便性向上に取り組みます。

提案書を元に今年度の実施内容を記載します。

利便性向上策

【対策-1】芝生の再生に努めます。

芝生広場等の地面の露出が目立ってきた部分の芝生の再生に努めます。協力表明を頂いている芦屋市芝生化実行委員会との協働事業とします。

今年度内容

芦屋市芝生化実行委員会と共同で芝生の再生に努めると共に、指定管理期間中に芝生の維持が出来る様に、運営現場と芝生化実行委員会との連携体制を構築します。

(芝生再生維持のための定期的な水遣りと使用禁止期間の設置)



【対策-2】草木等の定期的なメンテナンスによりレクリエーション機能の回復を図ります。

草木等の手入れにより、視認性の良い散歩道、ステージを提供し、市民のレクリエーション活動を促進します。ビオトープについても周辺を整備し、その存在をPRして子ども達が観察できるような環境をつくります。(池の中の草の刈り込みを年3回実施し、子供達の観察しやすい環境づくりを行う)

今年度内容

ビオトープ周辺を、小まめに草刈し、子供達が観察できるように常に綺麗な状態に保ちます。



【対策-3】レクリエーション活動をサポートする公園表示・サイン類を充実させます。

ウォーキング、ランニングをされる方へのコース案内や距離表示を行います。また、軽体操(準備、整理、補強)のアドバイス表示も行い、気軽に簡潔に運動が行える公園として来園者を増やします。

今年度内容

【対策-9】の内容と合わせて、日常業務を通じて利用者ニーズを把握し、ニーズにあった園内表示の改善追加計画を作成します。



【対策-4】市民の健康を維持増進するためにアウトドアフィットネス(ウォーキング、ランニング、ヨガ等)を開催します。

快適な自然環境の中で行う健康づくり活動としてアウトドアフィットネスを提案します。ウォーキング、ランニングだけでなく、ヨガやストレッチ等の屋外開催を企画します。

今年度内容

好天時に、自主事業のノルディックウォーキング、ヨガ、気功、親子体操教室等を屋外で開催し、快適な自然環境で気持ちよく、市民が健康増進出来るように努めます。



【対策-5】犬の散歩で来園される方のマナー向上を図ります。

犬の散歩で来園される利用者を対象に「犬のマナー教室」(芦屋動物愛護協会との協働事業)を実施します。(4月と9月予定)犬の散歩利用者のマナーが良い公園として認知されるように、表示、毎日3回の巡回時での呼びかけ等継続したマナーアップ啓発活動を行います。

今年度内容

提案の通り実施します。



【対策-6】ビーチスポーツの活性化を図ります。

ビーチスポーツとして、ビーチサッカー、ビーチバレーの利用促進を図るとともに、**各競技団体と協働してビーチクリーン活動**にも取り組みます。そのような活動を通じてスポーツ目的だけでなく親水目的の利用者にも美しいビーチを提供します。

今年度内容

昨年度からの継続で、公園緑地課様よりビーチスポーツの活性化は、近隣住民への配慮の観点から控えるように指示がありましたので、今年度は状況の把握に努めます。各競技会は昨年並みで増加はない予定です。各競技団体と良好な関係を築き、ごみ拾いのようなビーチの美化活動は本年度も継続して行います。



【対策-7】公園設備の修繕補修・交換を迅速に行います。

公園設備の不具合については、危険なものはすぐに使用中止とし、貴市への報告協議の上必要な対応（修繕・補修・交換等）を迅速に実施します。

今年度内容

提案通り実施します。



【対策-8】日常点検・巡視を強化します。

不法駐車、夏の花火、騒音等の対策として日常点検・巡視を強化します。強化策としてチェックすべき項目、場所、行為等を時期、時間別で点検項目をマニュアル化し、担当スタッフによる実施を徹底します。マニュアルは、貴市、管理運営協議会、近隣住民からのご意見から更新を重ねます。（日誌は別紙参照）

今年度内容

提案通り実施します。



【対策-9】注意看板・表示物を見直します。

運動施設及び公園内に設置されている看板等の案内表示を点検し、見やすく伝わりやすい表示に改善、必要に応じて増設します。

今年度内容

【対策-3】の内容と合わせて、日常業務を通じて利用者ニーズを把握し、ニーズにあった園内表示の改善追加計画を作成します。利用者の安全に関わるものは、随時変更します。



【対策-10】スポーツ品の販売及びレンタルを実施します。

一時利用や忘れ物への利便性向上対応及びスポーツ時の機能性の高い商品を取扱うことでスポーツ活動をサポートします。

今年度内容

ニーズに合ったショップ提案を進めていきます

展示内容については、市へ提出後進めていきます。（ラグビー、サッカー等のプラクティス品、栄養ドリンク等）



【提案】現状のスポーツコートの有効活用を提案します。

現状、開放使用の状態となっているスポーツコートの使用・整備について貴市と協議した上で、有効活用策を提案します。

今年度内容

フットサルやバスケの有効利用の促進に努めます



③園地管理に関する計画

樹木・草地・芝の管理

●「憩い」「癒し」を十分に体感できる行き届いた植物の育成管理を行います。

環境保全、レクリエーション、防災、景観構成といった公園の持つ機能は、10年・20年後も如何に十分に発揮されているか、植物管理は、如何に十分になされているかにかかっています。当グループは植物の植栽状況、植物個々の特性を十分に理解し、その植物にあった管理を実施することによって健全な植物空間をつくり、公園の機能が十分に発揮できるよう努めます。また、剪定枝や刈り草は、リサイクル施設を利用し、チップ・堆肥化し、育苗地として利用するなど本公園や市内公園で使用し廃棄処分はしません。

1) 樹木管理

塩分を含んだ強風に対し、防風林として植栽されているクロマツ、記念樹として多く植栽されているサクラ、塩風に強いカン類など公園樹木を健全に育成する管理を行います。なお衰弱木は、樹木医の診断に基づいて処置します。

①剪定作業

ア. 高木、単独中木

強風に耐えられるように枝抜きを主として行います。剪定頻度は生育状況を観て行います。(常緑樹 12月迄、落葉樹 2月迄)



■剪定作業

イ. 寄せ植 中低木

ボックスウッドが多く植栽されていて 強い刈り込みにも耐えられるので現在の高さを基準にイベント(園遊会、花火大会、オータムフェスタ等)に合わせて剪定します。

②樹木施肥

高木については、衰弱木に固形肥料または混合有機肥料を冬期に施肥します。また、寄せ植え中低木は年1回冬期と化成肥料を 100g/m²程度散布します。



■病虫害駆除

③病虫害駆除

予防散布は実施せずイラガなどの毒虫の発生状況に応じてスミチオン乳剤等を散布します。発生時期にあわせて巡回を行い、初期段階での人力駆除を優先させ、極力薬剤の使用を控えます。

④灌水

乾燥状況に合わせて全ての樹木に対し実施しますが、葉に乾燥害が出現しやすい樹木は早めに処置します。

⑤その他

ア. 台風強風後に枝折れがある場合は、速やかに切り戻しを行い、太枝の場合は癒合剤等を塗布し、防腐処理を施します。

イ. 台風強風によって塩風が枝葉に付着した時は、早急に水で洗い流します。

ウ. 衰弱木が発生し他にも拡大の恐れがある場合は、樹木医の診察を受け、診断内容に基づいた処置を施します。

エ. マツクイムシによる被害木が出た場合は、貴市に連絡すると同時に早急に伐採。なお、薬剤散布・樹幹注入などの処置に対する費用負担について貴市と協議します。



■ 台風時の倒木防止



■ マツクイムシ対応

2) 草地管理

公園利用者が広い草地を安全に安心して利用できる空間を創出します。刈り込み回数は2回以上とし場所によって 10 回程度のメリハリをつけた管理を行います。以下の注意事項を遵守して作業します。

①低刈りを基本とします。

②刈り込む前に草地の中を確認し、石・空き缶等を撤去してから刈り込みます。

③作業は、エリア分けし人の立ち入りを禁じます。また、ガードマンを配置するなど飛石による事故のないよう作業をします。

④樹木の根際を刈り払い機で傷つけません。



■ 草刈作業

3) グラウンド芝管理

秋期にオーバーシードを行い、1年中緑の芝生の中で利用して頂ける芝生づくりに努めます。芝生の管理に定型は無く、芝の表情を見て管理します。湿度、天候などの気象条件、使用頻度によるストレス、病害虫の発生状況、土壌の硬軟など様々な要因により、芝の表情は一変することがあります。常に芝に接し、このような状況になる前に、いち早く手段を講じ、良好な状態に保つのが長い経験により培われた技術です。本公園グラウンドはそのような芝生の管理経験豊富者が担当します。

管理内容は下表を標準とします。

工	年間 設計回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
刈り込み	60	4	6	9	10	9	7	6	4	2	1	1	1
施肥(粒状)	6		○	○	○		○	○	○				
目土散布	2			○			○						
殺虫剤散布	3		○		○			○					
殺菌剤散布	3		○		○			○					
エアレーション	4		○	○	○		○						
バチカル	1						○						
スーパー掛け	5		○	○			○				○	○	
人力除草	1式												
補植	1式			○	○								
オーバーシード	1						○	○					
トランジション	1			○									
グラウンド周りエッジ切り	3			○		○		○					
散水	4												

⑤維持管理

●関連法規・条例、仕様書を遵守し、日常点検のマニュアル作成(更新)、実行を反復します。

芦屋市総合公園・潮芦屋緑地、ビーチは陸上競技場等運動施設の他にバーベキュー広場、ビオトープ池、遊具広場等を備える総合公園で、家族連れ(特に小さい子ども)の利用が期待されます。だからこそ、常に安定した施設環境で、「安心」「安全」に施設を利用できる状態を維持することは運営上、最も重要であると考えます。当グループは、以下の項目に従い施設の機能保全に努め適切な維持管理を行います。

1)施設・設備の管理

電気設備や空調設備、消防設備等法定点検が義務付けられている機器は、点検周期を確実に管理し機能保全に努めます。各機器、備品については、日常的にスタッフ巡回により不具合箇所の点検を行うとともに、別途定期的に専門会社による点検を実施します。また、遊具他公園内設備についても現地スタッフによる日常目視点検を実施します。



■法定点検の遵守

2) 修繕業務

スタッフによる日常点検、また専門知識を有する者による定期点検の結果、異常が確認できる部分については、マニュアルや仕様書に基づき機器チェックを行い、補修処置を行います。また、修繕を要する箇所については貴市への報告を確実にいたします。

3) 清掃業務

美しさと清潔さを重視し、「目視できる場所・目視できない場所」を問わず日常的に清掃を行い、衛生環境の確保に努めます。特にトイレ清掃に関しては週3回の日常清掃のほかに現地スタッフがチェックシートによる点検を行い、計画的に清掃作業を実施します。



■巡回時の清掃

4) 警備関係業務

管理棟、緑の相談所、クラブハウス棟などの管理は火気等の始末に留意し確実に実施します。また、駐車場トラブルに関しては 24 時間対応の為、スタッフの居ない時間帯については夜間緊急対応可能な警備業者(アルソック)との契約を考えています。



■公園トイレの巡回

5) スポーツ設備管理業務

第4種陸上競技場として備えるべき陸上競技の用器具について、必要なものが必要な数量備わっているか、使用できる良い状態であるかを管理することで競技者のサポートに取り組みます。取り組みの中で陸上競技関連団体等との連携を密にとることで円滑な競技大会及び利用サポートを実施します。

別表2 用器具一覧
必備用具

用器具名称	要 株 定	1種	2種	3種	4種	備 考
綱 鉄 製 巻 尺	20m又は 30m	4個	3	2	1	綱材ナイロンコーテ ィング可
	50m	2個	2	1	1	綱材ナイロンコーデ ィング可
	100m	2個	1	1	1	綱材ナイロンコーデ ィング可
リ ボ ン ロ ッ ド	30m	2個	1	1	1	
	50m	3個	2	2	1	
	100m	2個	1	1	(1)	
	止金具	200個	100	100	50	平かすがいく(全天候 用)
	止金具	200個	100	100	30	ワールド用コの字 型金具(幅 60cm× 長さ 70mm)
走 高 跳 用 高 度 計		2本	2	1	1	1種、2種では1本は 2m300以上計測でき るもの
棒 高 跳 用 高 度 計		2本	2	1	(1)	1種、2種では1本は 5m300以上計測で きるもの
ス ト ッ プ ウォ ッ チ ×		18個	18	18	18	1/100 デジタル式 1 年1回検査すること
赤 ・ 白 手 錠 ×		20組	20	15	10	判定用
黄 ・ 手 錠 ×		40本	40	30	20	監督員用
緑 ・ 黄 ・ 赤 手 錠 ×		4組	2	1	1	出場係用

■陸上競技必備用具一覧
(ルールブックより一部抜粋)

6) その他

①再委託する業者を適切に選択

再委託事業者に対しては、既成概念に捉わられることなく複数業者で見積もり合わせをし、経費と品質のバランスを考慮し、よりコストパフォーマンス性の高い事業者に再委託します。業者選定については市内業者を基準に考えています。

②省エネ・エコ対策

当グループは、「地球に優しい＝人と暮らしに優しい」という信念のもと、地球環境に配慮した管理運営に努めます。施設の管理・運営では、使用する備品や資材について、環境へ配慮した商品をまとめたエコリストを作成し、可能な限り環境に配慮した資材を利用するよう心がけるとともに、廃棄物については適切に分別し処分します。さらにスタッフ一同日常的に省エネ対策に取り組み、節水節電に努めます。

⑥市民参画

●市民の「参画」、市民との「協働」、そして市民が「共生」する公園を創ります。

当グループは、芦屋市体協を中心に「オール芦屋」で本公園を市民の参画と協働の場として、競技者だけでなく障がい者、シニア世代対象のイベントやスポーツを通じたチャリティイベント等の開催を地元団体と協力して実施します。イベント開催を通じ、市民活動の場としてより有意義なものを実施します。

活動計画案	開催頻度 (回数)
【計画-1】「春と秋の園遊会」を開催します。 協働対象:PMO あしや PMO あしや協力による園遊会を開催し、活動成果の発表とともに園遊会を盛り上げるイベント企画を盛り込みます。	年2回
【計画-2】「スペシャルオリンピックス日本・兵庫・芦屋プログラム」を開催します。 協働対象:スペシャルオリンピックス日本・兵庫・芦屋プログラム 毎月、知的障がい者スポーツ教室プログラムや成果の発表の場としての競技会を開催します。	年12回
【計画-3】「リレー・フォー・ライフジャパン芦屋」を開催します。 協働対象:リレー・フォー・ライフ関西実行委員会 公益財団法人日本対がん協会とともにがん患者支援、がん検診啓発に対する事業を実施します。	年1回
【計画-4】「芦屋市ペットマナー教室」を開催します。 協働対象:芦屋動物愛護協会 ペットの飼い方及びしつけ教室を年2回程度開催します。	年2回
【計画-5】「芦屋市高齢者スポーツ大会」を開催します。 協働対象:芦屋市・ボランティア・老人クラブ 芦屋市の高齢者を集めてスポーツ大会(約1,000名の参加見込み)を開催予定でしたが、本年度は設備の問題もあり、青少年センターでの開催で後援していきます。	年1回
【計画-6】東日本大震災支援芦屋ユナイテッド芦屋リレーマラソンを開催します。 協働対象:芦屋ユナイテッド・リレーマラソン実行委員会 リレーマラソンを通して、地域住民のスポーツ及び文化の普及、青少年育成、東日本大震災の復興支援を目的としたチャリティ事業を開催します。	年1回
【計画-7】芦屋市内の都市公園の芝生化事業を実施します。 協働対象:芦屋芝生化実行委員会(構成メンバー所属団体 芦屋市体育協会、芦屋市老人クラブ連合会、芦屋市子ども会連絡協議会、芦屋青年会議所、芦屋浜自治連合会、芦屋市商工会青年部、リレーフォーライフ関西実行委員会) 芝生化事業を通じて、子どもたちの運動能力向上や地域貢献、住民への貢献に資することを目的とします。	通年
【計画-8】芦屋サマーカーニバルを開催します。 協働対象:特定非営利活動法人芦屋市民まつり協議会 開催場所の提供、花火大会の準備、ガードマン、警察、消防との連携等、花火大会を中心とした芦屋最大規模の市民祭を開催援助します。	年1回
【計画-9】潮芦屋ビーチクリーン活動を実施します。 協働対象:芦屋市サッカー協会、芦屋市バレーボール協会(芦屋市体育協会) ビーチスポーツ活動団体と協働して、ビーチクリーナーを使用した潮芦屋ビーチのクリーン活動を実施します。	年1回

<p>【計画-10】 総合型地域スポーツクラブとの協働関係を築きます。 協働対象:アスリートクラブ芦屋ユナイテッド(芦屋市体育協会) 総合型地域スポーツクラブを活動場所の提供等で支援し、人的資源をボランティア等で協力依頼する協働関係を築きます。</p>	通年
<p>【計画-11】 「潮芦屋アクアスロン大会」を開催します。 協働対象:特定非営利活動法人芦屋市民まつり協議会 ビーチを含めた総合公園を利用した芦屋市民の健康促進を図る大会の場所を提供し、開催援助します。</p>	年1回
<p>【計画-12】 「芦屋杯グラウンドゴルフ交流大会」を開催します。 協働対象:芦屋市グラウンドゴルフ協会 芦屋市及び近郊のグラウンドゴルフ愛好者約 400 名を招いて、総合運動公園で大会を開催します。</p>	年1回
<p>【計画-13】 「キッズラグビークリニック」を開催します。 協働対象:特定非営利活動法人芦屋ラグビーソサエティ ラグビーを通じた青少年健全育成事業を開催します。</p>	年12回
<p>【計画-14】 「シニアサッカー大会」を開催します。 協働対象:一般社団法人芦屋市サッカー協会 中高年対象のサッカー大会を開催します。</p>	年2～3回

⑦自主事業計画1)教室・スクール

事業名		内容
園芸・文化	現緑化相談員緑化講習	・従来より継続して緑化相談員を担当して頂いている佃、前田の両先生による園芸等講習会を月2回以上実施します。 ※料金等は、開催する内容により変動します。
	その他緑化講習	・新しく講師を招いての講習会 ・出前講習会 ・その他、みどりに関心を持ってもらうための講習会、集い等を1年間で6回以上実施します。
	その他	・ビオトープ池の再生、利用促進 ・ステージの利用促進などを通して子供達の公園への関心を高めることを1年間を通して考えます。

※園芸・文化の自主事業に関しては、今年度は上記を基本とし、利用者のニーズを把握し、来年度以降増やしていきます。

事業名		内容
健康づくり	気功 (会議室・公園)	ゆっくり動いて、体も心も気持ちいい長い歴史に選びぬかれた健康法です。 一度覚えれば、一生の財産になります。 対象:一般 参加費:1,200円 定員:15名 実施頻度:毎週月曜日(年12期)
	ヨガ (会議室・公園)	様々なポーズを体得し、ゆっくりした動きを連続し、筋持久力とともに全身持久力も高めます。気候の良い時期は、公園で実施します。 対象:一般 参加費:1200円 定員:15名 実施頻度:毎週月曜日(年12期)
	フィットネスフラダンス (会議室・公園)	中高年の女性に人気のプログラムを導入します。気候の良い時期には、アウトドアフィットネスとして公園で実施します。 対象:一般 参加費:1,200円 定員:15名 実施頻度:月4回(年3期)
	親子体操教室 (会議室)	子育て(幼児)世代に、親子同時に参加が出来る体操教室を開催し、運動効果とともに親子の触れあい、同じ世代での交流も図ります。 対象:親子 参加費:500円 定員:15名 実施頻度:月1回(年4期)
	卓球教室 (会議室)	基礎をマスターしたい、楽しく卓球をしたい、卓球を始めてみたいと思う方、初級者から上級者までわかりやすく丁寧に指導します。 対象:一般 参加費:1,500円 定員:8名 実施頻度:毎週金曜日(年12期)
	ウォーキング教室 (園路等)	運動として正しい歩き方(姿勢・運動強度)をメインに靴の履き方、選び方、靴紐の結び方などについてもアドバイスします。 対象:一般 参加費:500円 定員:20名 実施頻度:月4回(年3期)
	ノルディック ウォーキング教室 (園路等)	ノルディックポールを使い、通常のウォーキングより全身の筋肉を使う強度・消費エネルギーの高いノルディックウォーキング教室を実施します。 対象:一般 参加費:1,000円 定員:20名 実施頻度:月2回(年12期)
	ランニング教室 (園路等)	最近のマラソンブームからランニングを始められる方や初心者の方を対象にフォームチェックや練習方法の実践を行います。 対象:一般 参加費:500円 定員:20名 実施頻度:月4回(年12期)
競技力向上	キッズダンス教室 (会議室)	ダンスに挑戦したい、学校での必修化に伴い苦手を克服したい小学生を対象にキッズダンス教室を開催します。 対象:小学生 参加費:月5400円 定員:20名 実施頻度:月4回(年3期)
	短期ラグビー教室 (競技場)	興味はあってもできる機会が少ないラグビー競技をコンタクト(身体接触)なく安全に楽しむことができるラグビー教室として実施します。 対象:小学生 参加費:500円 定員:20名 実施頻度:年10回
	短期バスケットボール教室 (スポーツコート)	バスケットボールの基本動作(ドリブル、パス、シュート)の練習を普段アドバイスを受ける機会が少ない子どもたちを対象に実施します。 対象:小学生 参加費:500円 定員:20名 実施頻度:年4回
	A&C ASHYA (競技場)	総合公園の自主事業として、スポーツ基本である「走り」を身に着ける教室を開催します。 ※NPO 法人アスロン様共同事業 対象:幼児・小学生 参加料:3,800~6,000 実施頻度:月8回

2) イベント・大会、その他

事業名	内容	
子ども体育	子ども苦手運動克服教室 (競技場)	子どもが苦手とする「跳び箱」「鉄棒」「マット運動」「走り方」の4種目の運動について短期集中レベルアップ教室を実施します。 対象: 幼児・小学生 参加費: 1,000 円 定員: 20 名 実施頻度: 年2回
	子ども体力測定 (競技場)	ミズノが商品開発の中で培った「走る」「投げる」「跳ぶ」動きから、キッズチャレンジプログラムとして新しい子ども体力測定会を実施します。 対象: 小学生 参加費: 500 円 定員: 50 名 実施頻度: 年1回
	運動会必勝塾 (競技場)	運動会の前に子どもたちに速く走るコツをアドバイスする運動会必勝塾を開催します。 対象: 小学生 参加費: 500 円 定員: 50 名 実施頻度: 年2回

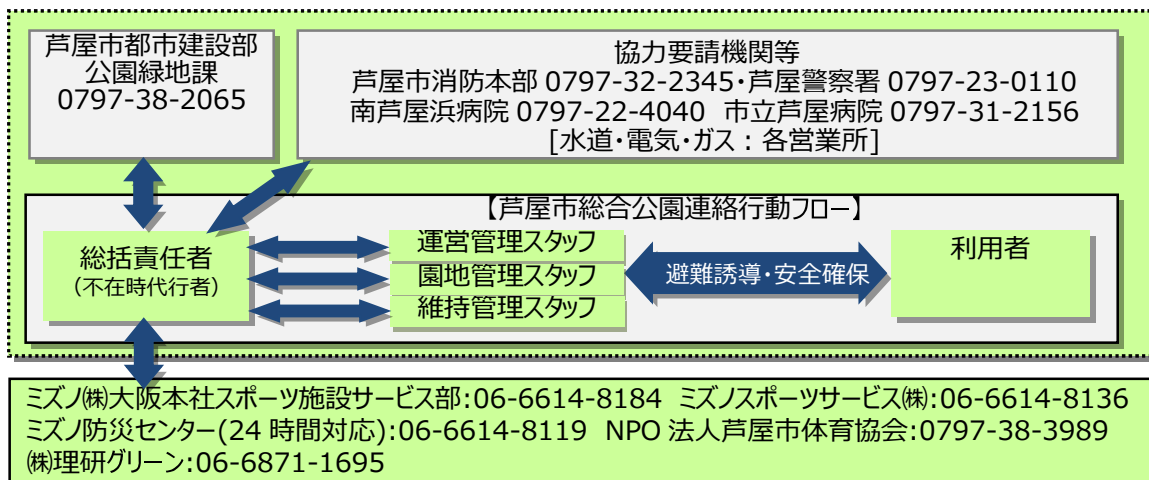
事業名	内容	
ビーチスポーツ	ビーチサッカー大会 (ビーチ)	ビーチスポーツの盛り上げ、練習成果発表の場として大会を開催します。 対象: 一般 参加費: 8000 円 定員: 12 チーム 実施頻度: 年2回
	ビーチバレー大会 (ビーチ)	ビーチスポーツの盛り上げ練習成果発表の場として大会を開催します。 対象: 一般 参加費: 6,000 円 定員: 10 チーム 実施頻度: 年2回

(参加費は予定です)

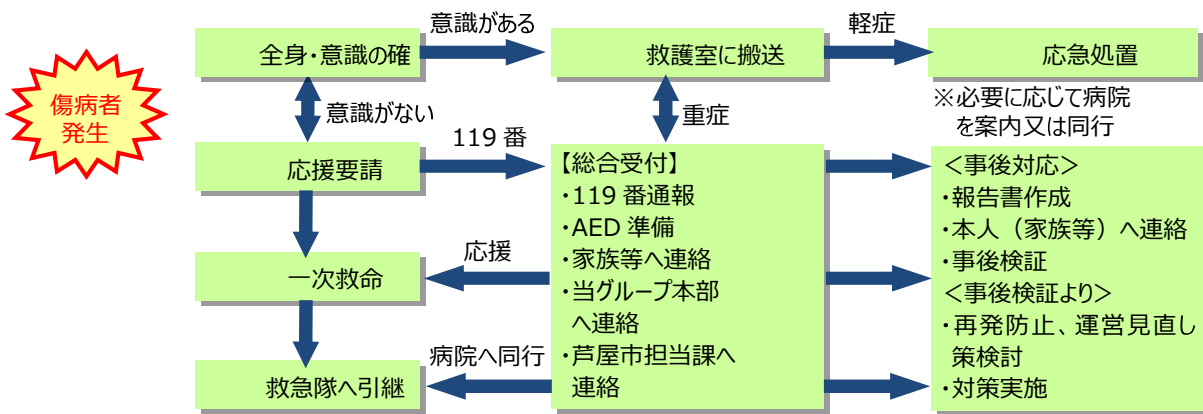
(3) 緊急時の対応

●緊急時は総括責任者の指示・命令のもと現地、本部、近隣スタッフ一体で事態収拾を図ります。

当グループは本公園の事故・火災、災害発生時などの緊急時には、緊急時体制を敷き、貴市担当課及び関連機関との連携・調整を行い迅速に対応します。災害に備え、芦屋市防災計画に基づく防災ガイドマップ、災害メーラ等を活用した体制を構築します。



(傷病者発生時)まず状況を把握し的確な判断に努め、必要に応じて応急処置を行います。



各対応の確実性向上のために

●基本的な訓練の反復と本公園各所・時間帯での想定訓練から確実性を高めます。

本公園内での事故に備え、安全に対する基礎知識や運営に対する心がけを始め、全スタッフが身に付けるべき心肺蘇生法(CPR)・AED操作訓練を行います。個々の能力アップと連携(利用者への協力要請等を含め)による救急体制の確立を目的に総合的な訓練を行います。また、本公園の特性(立地条件、設備配置等)を踏まえ、園内のどこで、いつ発生した場合にまで掘り下げたシミュレーション研修を行います。

危機管理研修	取り組み内容	
救急救命研修 消防避難訓練	<p>公園内での事故に備え、安全に対する基礎知識や運営に対する心掛けを始め、全スタッフが身に付けるべき心肺蘇生法(CPR)・AED操作訓練を行います。</p> <p>個々のスキルアップとスタッフ連携(利用者への協力要請を含める)による救急体制の確立を目的に総合的な訓練を行います。また、消防避難訓練についても同様に個々の対応力とチーム力、関係機関との連携が一体化できる訓練に取り組みます。</p> <p>[実施頻度:年2回以上]</p>	
社外公的資格取得 (更新)研修参加	<p>当グループでは、各物件において救命救急、消防・避難訓練の中心となるスタッフの育成を計画的に進め、日本赤十字社主催、消防署主催の資格認定及び資格更新研修への参加を促進しています。また、有資格者(応急手当普及員等)の有効活用として、地域住民対象の救急救命講習会開催等の地域貢献活動にもつなげています。(昨年は2回実施)</p>	

安全性維持の活動

●各作業の反復・継続・積み重ねにより安全性を担保します。

当グループは、施設の設備・備品が備えるべき機能とそれを使うスタッフのスキルを維持向上します。それにより危機発生時に発揮されるべき対応を確実にを行います。その取り組み事例として AED(心肺蘇生法)の機能保持について記載します。

➤事例:AED チェックの実施

AED 等の緊急用の設備・備品等は、常時機能保持と円滑な使用が必要です。メンテナンスやチェック等を日常業務とし、発生時の円滑な対応に備えます。さらに使用するスタッフ側のスキルアップ研修も実施します。

ア. 日常点検:セルフテスト実施で使用可能確認。使用不可サイン表示時は至急復旧対応。

イ. 日常点検結果の表示:誰がいつ点検してどうだったかの記録管理。

ウ. 電極パッドの交換:日常点検時に使用期限チェック。使用した場合は即交換。

エ. バッテリーの交換:約 5 年が交換目安のため、日常点検時にチェック。

オ. 設置場所の表示:スタッフとともに利用者への設置場所の明示。

カ. AED 研修継続:人的機能(使用スキル)の保持。(採用時・定期)



■日常点検作業



■設置場所表示



■CPR&AED 研修

その他安全対策

●季節・流行に応じた対策を実施します。

➤熱中症予防・水分補給啓蒙について

猛暑への危機意識が高まる中、**熱中症指標計**を使用した利用者への水分補給のインフォメーション活動等コンディションリスクへの対応に取り組みます。



■指標計による測定



■受付でのインフォメーション

➤新型感染症等への対策について

新型の感染症が地域で確認された場合は、以下のように適切に予防策を講じます。また世界的な大流行(パンデミック)対策を貴市や関係各所と連携しながら実施します。日常的にスタッフに体調管理を徹底させ、予防策を講じますが、スタッフや利用者の方が万が一発症した場合は、貴市と協議の上、適切・迅速に対応します。

新型コロナウイルス対策一例

(対利用者)

・各施設の玄関やトイレ等の施設内の共用部分にアルコール消毒液を設置し、消毒の徹底を推進

・入館時の手洗い消毒の協力要請 ・体調の優れない方への活動の自粛のお願い

(対スタッフ)

・健康管理・衛生管理の徹底 ・こまめな手洗い・うがい ・消毒の義務付け

・外出時、施設内でのマスク着用の義務化 ・体調の優れないスタッフへの対応の周知



(4) 本年度予算

① 芦屋市総合公園管理運営費(消費税相当額を含む。)

(金額:千円)

項目	金額	積算根拠等
(収入)		
利用料金収入	19,200	実績を元に積算
その他収入	4,718	実績を元に積算
自主事業収入	5,074	実績を元に独自の取組を含め積算
計(A)	28,992	収入合計
(支出)		
人件費	12,205	実績・仕様書を元に積算、
光熱水費	5,622	実績を元に電気代値上がり分を考慮して積算
設備等保守	788	実績・仕様書を元に積算
清掃・植栽・警備等	20,663	実績・仕様書を元に積算
緑化推進費	6,020	実績・仕様書を元に積算
修繕費	5,300	実績・仕様書を元に積算
事務局費	2,000	実績を元に積算
その他	2,537	備品、消耗品、保険料等、当グループの実績を元に積算
イベント等経費	3,233	自主事業、イベント計画より積算
計(B)	58,368	支出合計
提示額(A)-(B)	-29,376	指定管理料提案金額 29,376 千円

※消費税相当額は、平成 27 年度 8%

②潮芦屋緑地・ビーチ管理運営費（消費税相当額を含む。）

（金額：千円）

項目	金額	積算根拠等
(収入)		
利用料金収入	21,834	実績を元に積算
その他収入	1,865	実績を元に積算
自主事業収入	312	
計(A)	24,011	収入合計
(支出)		
人件費	20,600	実績・仕様書を元に積算、
光熱水費	2,872	実績を元に電気代値上がり分を考慮して積算
設備等保守		
清掃・植栽・警備等	8,162	実績・仕様書を元に積算
緑化推進費		
修繕費	100	実績・仕様書を元に積算
事務局費	300	実績を元に積算
その他	1,769	備品、消耗品、保険料等、当グループの実績を元に積算
イベント等経費	1,656	自主事業、イベント計画より積算
計(B)	35,459	支出合計
提示額(A)-(B)	-11,448	委託料提案金額 11,448 千円

※消費税相当額は平成 27 年度 8%

③芦屋市総合公園及び潮芦屋緑地・ビーチ管理運営費

(金額:千円)

項目	芦屋市総合公園	潮芦屋緑地・ビーチ	計
(収入)			
利用料金収入	19200	21,834	41,034
その他収入	4,718	1,865	6,583
自主事業収入	5,074	312	5,386
計(A)	28,992	24,011	53,003
(支出)			
人件費	12,205	20,600	32,805
光熱水費	5,622	2,872	8,494
設備等保守	788		788
清掃・植栽・警備等	20,663	8,162	28,825
緑化推進費	6,020		6,020
修繕費	5,300	100	5,400
事務局費	2,000	300	2,300
その他	2,537	1,769	4,306
イベント等経費	3,233	1,656	4,889
計(B)	58,368	35,459	93,827
提示額(A)-(B)	-29,376	-11,448	-40,824
(合計)			

管理料提示額 芦屋市総合運動公園 29,376 千円 潮芦屋緑地・ビーチ 11,448 千円 合計 40,824 千円

※消費税相当額は、平成 27 年度 8%

④損害保険料の内訳

(1)施設賠償責任保険内訳

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料(千円)
施設賠償責任保険【追加被保険者、芦屋市】	1名につき 100,000 千円、1事故につき 300,000 千円、財物損壊 100,000 千円、いずれも免責0円	127 千円 ※スクール人数により多少の変動あり

(2)第三者責任賠償保険内訳

保険種類・保険種目	てん補限度額・責任金額	保険料(千円)
施設賠償責任保険に含む		

※消費税相当額は、平成 27 年度 8%